MESA

デスクトップオーディオI/F

SDレコーダー

AD/DA変換器

EQクイックスタートガイド



LYNX STUDIO TECHNOLOGY, INC.
www.lynxstudio.com
support@lynxstudio.com

更新日: 2026年7月28日

Copyright © 1997-2026, Lynx Studio Technology, Inc.

1 はじめに

本書では、ファームウェア 1.8で利用可能となったLynx MesaのアウトプットEQ機能について説明します。

1.1 概要

ファームウェア 1.8の主な新機能は、Mesa本体へのEQページの追加、およびMesa-RemoteへのEQボタンの追加です。アウトプットEQ機能には以下が含まれます。

下記出力（合計8チャンネル）のイコライゼーション:

- モニター出力
- フォン出力
- S/PDIF同軸出力
- S/PDIF光出力

アウトプットEQは、選択した出力チャンネルに応じて、モノラルまたはステレオペアとして扱うことができます。各出力には最大16個のフィルターを適用可能です。各フィルターのシェイプは、以下の6種類から設定できます。

- オフ
- LPF(ローパス)
- HPF(ハイパス)
- LShelf(ローシェルフ)
- HShelf(ハイシェルフ)
- Peak(ピーク)

これにより44.1/48/88.2/96kHzで計128個のフィルターを使用できます。176.4/192kHzではモニター出力とフォン出力のEQのみ有効です。

1.2 機能

EQにアクセスするには、Outputsページで特定の出力を選択し、EQボタンを押します。

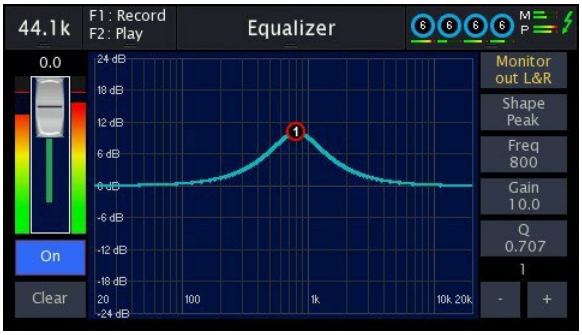


EQボタンを押すと、Equalizerページが表示されます。



新しいEQカーブの作成方法は複数あります。

1) 目的の周波数とゲインの位置で、ロググラフ表示をタッチします。タッチしたままフィルターハンドルをドラッグすると、そのフィルターの効果をすぐに確認できます。この方法で新しいフィルターを作成すると、シェイプは「Peak」になり、Q値はピークフィルターの業界標準である「0.707」がデフォルトになります。作成済みのフィルターハンドルをダブルクリックすると、そのフィルターは削除されます。

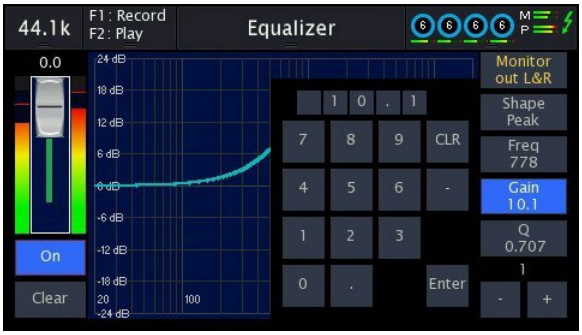


2) 画面右側の各項目（「Shape」から開始）を順番にクリックしてパラメーターを選択し、各フィルターの値を手動で入力します。



Frequency、Gain、またはQのボタンを選択すると（青色で表示）、ロータリーエンコーダーを使用して値を変更できます。FrequencyまたはGainのボタンが選択されている状態で、フィルターハンドルより上部のロググラフ表示をタッチすると、他のパラメーターを固定したまま選択中の値のみを変更できます。ロータリーエンコーダーを押し込むと、周波数は最低値の100Hz、ゲインは0.0、Qは1.000に設定されます。

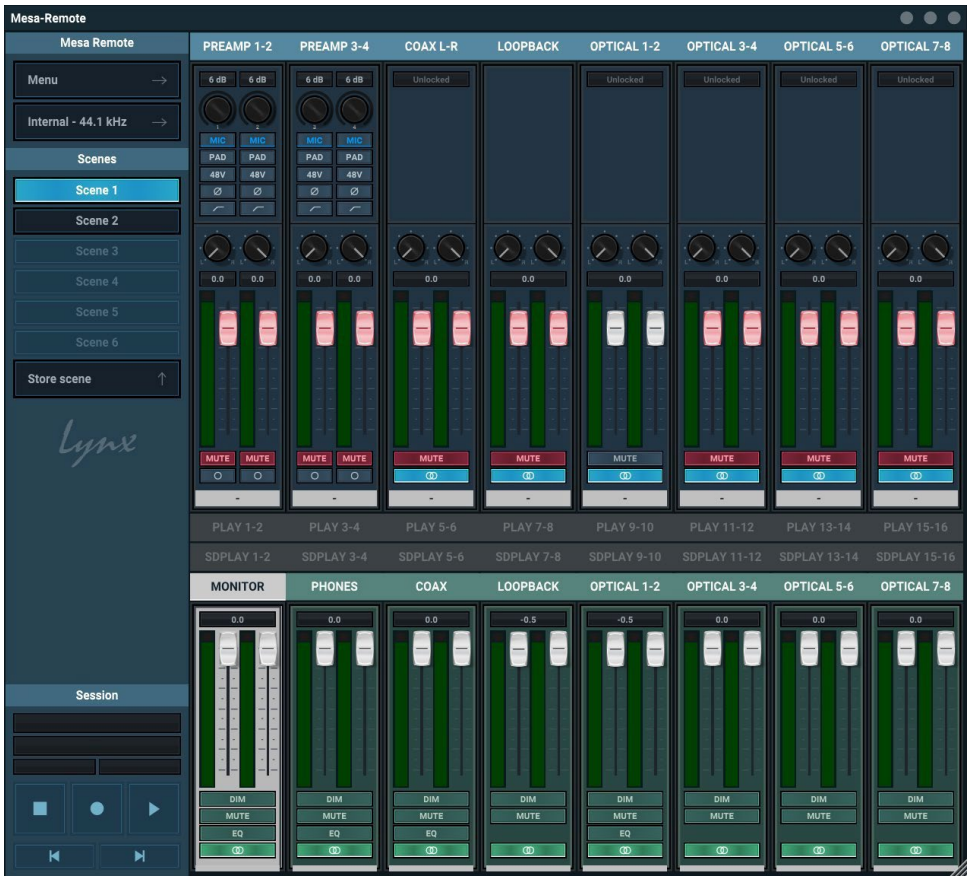
値のボタンをダブルクリックするとテンキーが表示され、数値を直接入力できます。



Enterボタンを押すと、テンキーが閉じます。

3) Mesa Remote 経由（セクション2参照）。

2 Mesa Remote



Mesa Remoteの新バージョンには、モニター出力、フォン出力、COAX、OPTICAL 1-2（S/PDIFオプティカル出力専用、ADAT 1-2非対応）用のEQボタンが追加されました。

任意の出力のEQボタンを押すと、その出力に対応したEQページが表示されます。



Mesaのフロントパネルで EQ設定を変更する場合と同様に、このページでは実際の音の変化を聴きながら、リアルタイムでEQを調整できます。

ページ上部のボタンは以下のとおりです。

Load SoundID Preset

このボタンを使用すると、以前にSoundIDで作成したプリセットファイルを読み込むことができます。Mesaエクスポーターを使用するSoundIDバージョン5.13.8.20以降と互換性があります。ファイルに3チャンネル以上含まれている場合、Mesa-Remoteは左右のチャンネルのみを読み込みます。SoundID Headphoneのエクスポートデータはロックされており、Mesa RemoteやMesa本体では編集できません。ロックを解除する唯一の方法は、「Clear」ボタンを押すことです。

Load REW Preset

このボタンを使用すると、以前にREWで作成したプリセットファイルを読み込むことができます。ファイルに3チャンネル以上含まれている場合、Mesa-Remoteは左右のチャンネルのみを読み込みます。

Load AutoEQ.app Preset

このボタンを使用すると、AutoEQ.appウェブサイトからダウンロードしたプリセットファイルを読み込むことができます。同サイトには多数のヘッドフォン用EQプリセットが用意されています。ダウンロードの際は「EasyEffects」または「Peace」の設定を選択することをお勧めします。通常、プリセットファイルにはモノラルのEQ値が含まれており、Mesa Remoteが両チャンネルに自動でコピーします。

Left

このボタンを押すと、左チャンネルのEQグラフと値のみが表示されます。

Right

このボタンを押すと、右チャンネルのEQグラフと値のみが表示されます。

Both

このボタンを押すと、現在選択されているチャンネルのEQ値がもう一方のチャンネルにコピーされます。

Clear

クリアボタンは、選択したチャンネルのEQフィルター値を消去します。消去前の値は自動的にクリップボードへコピーされるため、「ペースト」ボタンを押して消去を取り消すことができます。

Copy

コピーボタンは、選択したチャンネルのEQフィルター値をクリップボードにコピーし、別のチャンネルへ適用できるようにします。

Paste

ペーストボタンは、クリップボードにコピーされているEQフィルター値を、現在選択されているチャンネルに貼り付けます。

On

オンボタンは、チャンネルペアのEQをオン/オフにします。

Log Graph Display（ロググラフ表示）

ロググラフ表示内をクリックすると、その位置の周波数とゲインに合わせて新しいフィルターハンドルが作成されます。

このとき、Shapeは「Peak」に、Qは「0.707」に設定されます。フィルターハンドルをダブルクリックすると、Shapeが「Off」に設定され、フィルターは実質的に削除されます。
既存のフィルターハンドルをドラッグすると、周波数とゲインを変更できます。

2.1 Mesa Remote Scenes （シーン）

EQフィルターの値は、クイックセーブ・シーンを含むMesaのシーンに保存されます。Mesa Remoteで保存したシーンファイルは、microSDカードの/ScenesフォルダからMesaへ直接読み込むことができます。